



スパイラルアレイ® ブロック作製 導入事例

株式会社 パソロジー研究所
2011年11月8日改

例① 金沢医科大学 病理学Ⅱ 教授 上田 善道 先生

内容：肺癌組織にてスパイラルアレイ®ブロックの作製

①スパイラルアレイ®作製ご依頼の目的

・肺癌における分子病理学的解析
⇒上記結果を利用し、肺癌・病理関係の学会にて、発表。論文投稿。

②スパイラルアレイ®を選んだ理由

- ・穴をあける必要がない
- ・使用する表層組織以外は残存するから

③今後もスパイラルアレイ®の利用の可能性はございますか。

ある。肺癌以外の腫瘍組織にて作製。

例② 田辺三菱製薬株式会社

ターゲット発掘・バイオマーカー研究部

主任研究員 田中 雅治 様

内容：肝臓組織にてスパイラルアレイ®ブロック作製

①スパイラルアレイ®作製ご依頼の目的

- ・特定タンパクの組織における発現解析

②スパイラルアレイ®を選んだ理由

- ・穴をあける必要がない
- ・使用する表層組織以外は残存するから
- ・広範囲の組織を確認出来るから
- ・キャンペーン中で価格が手頃だったから

③スパイラルアレイ®を利用していただき、気付いた点

- ・タンパクの発現に特化すれば、有用性は高いと感じた。

④従来の組織アレイと比較していかがでしょうか。

良い。従来の組織アレイのメリット・デメリットとスパイラルアレイ®のメリット・デメリットを上手に使い分けることで効率的な解析が出来ると感じた。

⑤今後もスパイラルアレイ®の利用の可能性はございますか。

ある。他の臨床サンプルでのタンパク発現解析を行いたい。

例③ 日本医科大学脳神経外科 准教授 吉田 大蔵 先生

内容：下垂体腺腫にてスパイラルアレイ®ブロック作製

①スパイラルアレイ®作製ご依頼の目的

- ・蛋白発現(共焦点レーザー顕微鏡)の成長浸潤との相関

②スパイラルアレイ®を選んだ理由

- ・穴をあける必要がない
- ・使用する表層組織以外は残存するから
- ・組織を無駄なく使用出来るから
- ・広範囲の組織を確認出来るから

③スパイラルアレイ®を利用していただき、気付いた点

- ・(穴をあけない為)何度もブロックが使える点

④従来の組織アレイと比較していかがでしょうか。

- ・(穴をあけない為)病理部からブロックを借りやすい

⑤今後もスパイラルアレイ®の利用の可能性はございますか。

ある。同じブロックで別の蛋白を試したい

⑥今後のご研究にスパイラルアレイ®を利用される場合

TMAからスパイラルアレイに移行すると思われる